

施策評価調書

施策名	1-4-1	災害に強い水道施設の整備	施策を取り巻く環境変化	
		地域経営計画(後期計画) 該当ページ	P. 25	
担当部課	建設産業部 上下水道課	担当	建設整備 担当	
		リーダー	阿久津 幽 樹	

1. 住民意識調査結果

21年度(10月実施)		25年度(※実施予定)		26年度(※実施予定)	
満足度	22.6% 第4位/全36項目(効率的で災害に強い水道整備)	満足度	第 位/全 施策	満足度	第 位/全 施策
優先度	44.3% 第25位/全36項目(効率的で災害に強い水道整備)	優先度	第 位/全 施策	優先度	第 位/全 施策

満足度:「満足である」、「どちらかと言えば満足である」を合計した割合から、「どちらかと言えば不満である」、「不満である」を合計した割合を差し引いたもの
 優先度:「優先すべき」、「やや優先すべき」を合計した割合から、「あまり優先しなくてよい」、「優先しなくてよい」を合計した割合を差し引いたもの

2. 施策の目標

指標	基準値	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
指標1:浄水場・配水池の耐震化率 (分母:4配水区×2施設):(%)	21年度までの実績 37.5%	計 画	37.5%	50.0%	75.0%	100.0%	100.0%
		実 績	%	%	%	%	%
指標2:石綿セメント管更新整備率 (計画延長:25.616Km):(%)	21年度までの実績 47.2%	計 画	70.4%	77.3%	88.6%	100.0%	100.0%
		実 績	%	%	%	%	%
指標3:水量・水圧不足解消進捗率 (総延長:10Km):(%)	21年度までの実績 43.6%	計 画	49.6%	59.3%	70.3%	83.1%	100.0%
		実 績	%	%	%	%	%
指標4:		計 画					
		実 績					
指標5:		計 画					
		実 績					
指標に関する特記事項	○平成21年度までの実績算式 指標1: 3施設÷8施設=37.5% 指標2: 12,086m÷25,616m=47.2% 指標3: 4,357m÷10,000m=43.6% ○耐震化(8施設)について、中阿久津の浄水場及び配水池、仁井田地区の配水池(計3施設)の耐震性は確保されていますが、仁井田の浄水場は耐震補強工事が必要です。また、宝石台地区、東部地区の施設は、耐震診断を実施し、必要な補強工事を行ないます。						

進捗状況の区分 ↑:目標以上の成果があった →:目標どりの成果があった ↓:目標に至らなかった △:遅延・未着手等 ×:見直し・廃止等

3. 施策に係る経費

事業費(傘下事務事業費計)の推移【単位:千円】 (※総事業費)	年 度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
		当 初	195,500			
	決 算					

4. 施策傘下事務事業 ※別紙のとおり

5. 施策評価

	後期計画における施策展開のビジョン	H23年度の狙い
自己評価(部)	浄水場・配水池の耐震補強 地震等による施設の被害と断水による影響を最小限に止めるため、浄水場及び配水池の耐震診断を実施し、診断結果により必要な耐震補強工事を実施します。併せて、水質管理の強化を図るための濁度計や、配水池からの水道水の流出を防ぐための緊急遮断弁(※)を設置します。	浄水場・配水池の耐震補強 平成21年度に実施した仁井田配水池の耐震診断に基づき、浄水場の補強工事を実施するための設計図書を作成します。併せて濁度計と緊急遮断弁を設置するための設計図書を作成します。中阿久津配水池の施設については耐震性を有し、緊急遮断弁も設置されていることから、濁度計を設置します。
	石綿セメント管更新・市街地管網整備 平成26年度を目標に、補助事業で石綿セメント管を耐震管に取り替えます。工事実施にあたり、次期公共下水道認可区域においては下水道工事や市街地配水管網整備事業と同時施工とします。宝積寺駅西第二地区は地域の整備方針決定後に実施します。	石綿セメント管更新・区画整理地区配水管布設 主に仁井田地区の石綿セメント管を取り替えます。区画整理地区は、区画道路築造工事に併せて工事を実施し、工事コストの削減を図ります。
総合評価(町長)	総合評価 前期計画での達成状況を踏まえ、配水施設の耐震化など継続的に施策展開を行なうことを評価する。 後期計画を展開する上で、他の施策と整合を図った上で、連携のとれた施策展開をするとともに、今後も財政状況を勘案しつつ、選択と集中を明確にした、安心安全な施策展開が図られるよう努められたい。	